

卒園・入園おめでとう

3月16日に卒園式を行いました。会場までの道には、子どもたちの「将来の夢」を描いた絵や、保育園での思い出を紙粘土で表現した作品が飾られ、子どもたちの優しい歌声に包まれた、温かな式となりました。

また、4月1日には入園式を行いました。今年度は0歳児5名、1歳児8名、3歳児1名が平和の子保育園に来てくれました。初めての保育園生活にドキドキ…お父さんやお母さんから離れる不安な気持ちを受け止めながら、安心して過ごせるよう一人ひとりとゆったり関わっています。お天気が良い日には園庭の桜の木の下で遊んだり、サークル車に乗って保育園の周辺をお散歩！興味深そうにキョロキョロと周りを見回したり、砂の感触を楽しんだり、春の暖かさを感じて気持ち良さそうな表情を見せてくれる子どもたちです。



ほしグループ(0歳児) 担任

子どもの家 入部おめでとう

4月1日に子どもの家の入部式がありました。今年度は12名の子どもたちが新しく入部しました。コロナ禍の入部式は新入部児のみの参加でしたが、今年は数年ぶりに在籍児も参加しましたよ。新入部の1年生には順番に前に立って自己紹介をしてもらいました。嬉しそうに立つ子どもや緊張している子どもなど様々でしたが、自分で発表することができましたよ！2・3年生にはけん玉を披露してもらったり、簡単に子どもの家の紹介をしてもらいました。少し照れ臭そうに、でも上級生として堂々と前に立ち新入部児のお友だちに発表してくれました。

小学校に入学、子どもの家に入部…と新しい環境になった子どもたちですが、「ただいまー！」と、毎日元気に帰ってきては小学校での出来事を嬉しそうに指導員に話してくれます。2～3年生の子どもたちに子どもの家でのあそびやルールを教えてもらいながら、屋上あそびや室内あそびを楽しんでいます。また、おやつバイキング、おこづかい(駄菓子屋さん)、けん玉クラブ、お茶あいさつクラブなど、子どもの家ならではの活動にも楽しんでくれている子どもたちです。



子どもの家 担任

旅立ち

3月末、卒園児が嬉しい報告とお母さんからの手紙を持って訪ねて来てくれました。「大学を卒業し、就職で関西を離れる前にご挨拶に来ました。」と話す青年の姿は、保育園時代給食が食べられず、お茶も飲めず、唯一飲める水分はポカリスエットだけだった事が想像できないほど立派な青年になっていました。仕事の話をした時に「大好きな事を職業にして嫌いになるとイヤなので仕事は打ち込んできた事とは違う分野です。」との考えに彼らしい！と納得。お母さんからの手紙には悩み深かった保育園時代、その時の心境と共に身に余る言葉が書かれており、最後に「まだまだ心配は尽きませんが我が子の持つ力を信じ見守っていきます。」と綴られていました。山の高さ海の深さは測れるが父母の愛は測れない。という何方かの言葉を思い出し、帰路に就く彼の背中にエールを送りました。

施設長 正田 智美

5歳児 修了を祝う会

3月22日に23名の児童が巣立っていきました。令和5年度は1年を通して地域の方とも関わることができ、春や秋には鶴見緑地公園事務所の方に手伝って頂きながら菜園活動を行い、冬には“清水みんなの音楽会”にもご招待して頂きました。どの経験も印象深く残ったようで、思いの伝え方を話し合



う中で「手紙を書きたい！」という意見が出ました。最初はどのように書こうか悩んでいる姿もありましたが、次第に具体的な内容とともに自分の思いを文章にして伝えようとする姿が見られるようになりました。修了直前には日々関わりのある保育者に感謝の気持ちを書いて伝えたり、修了を祝う会では、家での出来事などを思い浮かべながらお家の方へも自分の思いを言葉にして伝えることができました。これからは、素直に「ありがとう」と言える気持ちを大切にしたいです。

旧ゆり組(5歳児)担任

ダンゴムシ！みーつけた！

チューリップや桜などお花がきれいに咲き始めた春。進級した子どもたちは元気に戸外遊びを楽しんでいます。保育者がプランターの下で見つけたダンゴムシを見せると「うわー！！」と大喜び。怖いけど興味津々に見たり、手を伸ばし触ってみたい、反応は色々。その中でも初めてダンゴムシを手のひらに乗せることができたKくんは嬉しそうにそして大事そうに両手のひらに乗せ、所庭遊びの間ずっと観察していました。お友だちが側に来ると嫌がることなく「見て♡」と優しく見せてあげる姿にほっこりしました。次の日からダンゴムシ探しが始まりました。花壇にきれいな花が咲いていても「アリ！」「ダンゴムシ！」と虫を見つける方が楽しそうな子どもたちです♪

これからお散歩にも出かけ、色々な自然に触れ、たくさん思い出を作っていきたいと思います。



うさぎ組(2歳児) 担任